

## 研究課題「学生の健康白書 2015 の作成」に関する情報公開

### 1. 研究の対象

平成 27 年度の国立大学学部および大学院の在籍者で、春に行われた定期健康診断あるいは秋入学者用に行われた健康診断を受けられた方

### 2. 研究目的・方法

〔目的〕国立大学法人保健管理施設協議会は、5 年毎に全国の国立大学の学生の健康状態や疾病の頻度に関する実態調査を行い、「学生の健康白書」として公表してきた。この資料は、各大学において保健管理業務を適正に実施するための基礎資料となっているばかりでなく、文部科学省における政策立案にも活用されている。本白書は現時点における学生の健康の実態とその問題点を明らかにするだけでなく、時系列的に比較することにより、国立大学の学生に限られるものの 20 歳前後の男女の体格や健康状態の推移を把握することができる。本研究の目的は、平成 27 年度に全国の国立大学において実施される定期健康診断のデータを収集し、学生および大学院生の体格や健康状態の実態を整理・記述し、「学生の健康白書 2015」を作成することである。

〔方法〕国立大学法人保健管理施設協議会の「学生の健康白書に関する委員会」が中心となって実施する。本学の石黒（研究責任者）が委員長をつとめ、本学総合保健体育科学センター健康栄養医学研究室が事務局となる。

#### 1. 健康診断データ

- 1) 定期健康診断データが、各大学の保健管理施設から、研究事務局に送付される。
- 2) 研究事務局が、データを集計して基本データベースを作成する。
- 3) 「学生の健康白書に関する委員会」において、各項目について解析する。

#### 2. 学生生活アンケート

- 1) 各大学の定期健康診断時に無記名アンケートを行い、業者に郵送される。
- 2) 業者は、読み取ったデータを研究事務局に郵送する。
- 3) 研究事務局は、基本データベースを作成する。
- 4) 「学生の健康白書に関する委員会」において、各項目について解析する。

「研究期間」2015 年 1 月 19 日～2018 年 12 月 3 日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

1. 健康診断データ（連結可能匿名化済み、連結票は各大学が保管）

学年、性別、生年月日、身長、体重、体脂肪、腹囲、血圧、脈拍）、胸部 X 線検査（異常の有無、疑われる疾患、指導区分）など

2. 無記名の学生生活アンケート

入学年度、性別、年齢、所属学部・学科・専攻、Yes or No で回答する設問が 60 問  
(自分は人の役に立つことが出来る、自分にもとりえがある、など)

#### 4. 外部への試料・情報の提供

共同研究期間へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、健康診断を実施した各大学の保健管理施設が保管・管理します。

#### 5. 研究組織

「共同研究者」名古屋大学(石黒 洋、山本明子)、東京工業大学(安宅勝弘)、大阪大学(守山敏樹)、新潟大学(鈴木芳樹)、弘前大学(高梨信吾)、滋賀大学(山本祐二)、横浜国立大学(藤川哲也)、旭川医科大学(川村祐一郎)、九州大学(丸山 徹、一宮厚)、筑波大学(杉江 征)、東京農工大学(早川東作)、琉球大学(古川 卓)、茨城大学(布施泰子)、千葉大学(潤間励子)

「既存試料・情報の提供のみを行う機関」上記以外の国立大学

#### 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

##### 研究責任者：

名古屋大学総合保健体育科学センター (大学院医学系研究科健康栄養医学学)  
石黒 洋

##### 研究代表者：

名古屋大学総合保健体育科学センター (大学院医学系研究科健康栄養医学学)  
石黒 洋